

2014 年度秋学期授業評価アンケート調査について
東洋大学国際地域学部国際観光学科

国際地域学部では、2014 年度秋学期に授業評価アンケートを実施しました。

この授業評価アンケートの結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てながら、わかりやすい授業をすることと、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

2014 年度秋学期におけるアンケート実施科目数は、国際地域学部全体で 158 科目、延べ回答者数 6,872 名ですが、その中で国際観光学科に関連するアンケート結果（延べ回答者数 2,469 名、延べアンケート対象者数 3,717 名、有効回答率 66%）を下記に示します。

1. 回答者属性等について

表 1 から表 3 までに、回答者の個人属性を示します。アンケートは、国際観光学科の教員が担当している授業であるため、回答者の一部に経済学部、文学部、社会学部等の学生がいますが、ほとんどが国際地域学部学生であることがわかります。また、学年の構成比率では 2 年生がもっとも割合が高く、4 年生が少ないこと、回答者の出席状況では、「一度も欠席なし」、「1-2 回の欠席」が多いものの、5 回以上欠席した回答者が 11 名との結果となりました。授業に出席することが、授業履修の第 1 歩であるため、学生のしっかりとした授業参画を希望します。

また、表 4 に示すように受講人数の適切さでは、820 名（34%）が「多すぎる」もしくは「やや多い」と回答しました。2014 年度春学期では 40%であったため、若干改善されていると判断できます。

表 1 回答者の所属学部

| 学部 | 文 | 経済 | 経営 | 法 | 社会 | 理工 | 国際 | 生命 | ライフ | 総合 | 食環 | 有効回答 | 無効回答 |
|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|-----|----|----|-------|------|
| | 53 | 56 | 12 | 15 | 42 | 0 | 2,275 | 0 | 8 | 5 | 0 | 2,466 | 3 |

表 2 回答者の学年

| 学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | その他 | 有効回答 | 無効回答 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|
| | 596 | 970 | 741 | 148 | 2 | 2,457 | 12 |

表 3 回答者の出席状況

| 出席状況 | 一度も欠席なし | 1~2回の欠席 | 3~4回の欠席 | 5回以上欠席 | 有効回答 | 無効回答 |
|------|---------|---------|---------|--------|-------|------|
| | 826 | 1,245 | 329 | 11 | 2,411 | 58 |

表 4 受講人数の適切さについての回答分布

| 受講人数の適切さ | 多すぎる | やや多い | 適切 | やや少ない | 少なすぎる | 有効回答 | 無効回答 |
|----------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 190 | 630 | 1,545 | 65 | 15 | 2,445 | 24 |

2. 授業についての評価

2.1 授業のわかりやすさについて

表5上段に、2014年秋学期の授業のわかりやすさについての回答分布を示します。国際観光学科の評価が高い項目として、

「5. 先生の声は聞き取りやすかったですか。」

「4. スクリーンに投影される文字や図表は読みやすく作成されていましたか」

以上の2つがあげられる一方、最も評価が悪い項目として、下記が指摘されました。

「3. 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」

この評価項目をはじめとして、すべての項目で、春学期の評価よりも改善されているとともに、大学の全体平均よりも値が高くなっており、わかりやすいための工夫による評価の向上、改善がなされていると考えられます。

表5 授業のわかりやすさについての回答分布(上段：2014年度秋学期，下段：2014年度春学期)

| 問 | 設問 | 当学科 平均 | 当学部 平均 | 全体 平均 | 回答数/回答率(%) | | | | | 有効 回答 | 無効 回答 |
|-------------------------|--|-----------|-----------|----------|------------|--------------|----------------|-------------|-----------------|----------|----------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| A. 授業のわかりやすさについて | | | | | | | | | | | |
| 1 | 先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。 | 3.30 | 3.27 | 3.21 | わかりやすかった | わりにわかりやすかった | ややわかりにくかった | わかりにくかった | | 2,456 | 13 |
| | | | | | 1,086 | 44.2% | 1,090 | 44.4% | 222 | | |
| 2 | 使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。 | 3.35 | 3.32 | 3.29 | 役に立った | わりに役に立った | あまり役に立たなかった | 役に立たなかった | これらの教材は使わなかった | 2,452 | 17 |
| | | | | | 1,041 | 42.5% | 1,095 | 44.7% | 161 | | |
| 3 | 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。 | 3.16 | 3.18 | 3.13 | 見やすかった | わりに見やすかった | あまり見やすくなかった | 見やすくなかった | 板書はしなかった | 2,459 | 10 |
| | | | | | 650 | 26.4% | 843 | 34.3% | 268 | | |
| 4 | スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。 | 3.43 | 3.37 | 3.34 | 見やすかった | わりに見やすかった | あまり見やすくなかった | 見やすくなかった | パワーポイント等は使わなかった | 2,462 | 7 |
| | | | | | 1,062 | 43.1% | 803 | 32.6% | 149 | | |
| 5 | 先生の声は聞き取りやすかったですか。 | 3.51 | 3.50 | 3.45 | 聞き取りやすかった | わりに聞き取りやすかった | あまり聞き取りやすくなかった | 聞き取りやすくなかった | | 2,457 | 12 |
| | | | | | 1,467 | 59.7% | 807 | 32.8% | 150 | | |
| 6 | 総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。 | 3.35 | 3.30 | 3.25 | わかりやすかった | わりにわかりやすかった | ややわかりにくかった | わかりにくかった | | 2,448 | 21 |
| | | | | | 1,179 | 48.2% | 1,006 | 41.1% | 210 | | |
| A. 授業のわかりやすさについて | | | | | | | | | | | |
| 1 | 先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。 | 3.12 | 3.19 | 3.15 | わかりやすかった | わりにわかりやすかった | ややわかりにくかった | わかりにくかった | | 4,106 | 22 |
| | | | | | 1,421 | 34.6% | 1,913 | 46.6% | 627 | | |
| 2 | 使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。 | 3.21 | 3.26 | 3.25 | 役に立った | わりに役に立った | あまり役に立たなかった | 役に立たなかった | これらの教材は使わなかった | 4,099 | 29 |
| | | | | | 1,448 | 35.3% | 1,965 | 47.9% | 452 | | |
| 3 | 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。 | 3.02 | 3.10 | 3.08 | 見やすかった | わりに見やすかった | あまり見やすくなかった | 見やすくなかった | 板書はしなかった | 4,111 | 17 |
| | | | | | 851 | 20.7% | 1,264 | 30.7% | 556 | | |
| 4 | スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。 | 3.27 | 3.31 | 3.31 | 見やすかった | わりに見やすかった | あまり見やすくなかった | 見やすくなかった | パワーポイント等は使わなかった | 4,108 | 20 |
| | | | | | 1,198 | 29.2% | 1,191 | 29.0% | 296 | | |
| 5 | 先生の声は聞き取りやすかったですか。 | 3.39 | 3.45 | 3.41 | 聞き取りやすかった | わりに聞き取りやすかった | あまり聞き取りやすくなかった | 聞き取りやすくなかった | | 4,097 | 31 |
| | | | | | 2,100 | 51.3% | 1,569 | 38.3% | 352 | | |
| 6 | 総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。 | 3.16 | 3.23 | 3.19 | わかりやすかった | わりにわかりやすかった | ややわかりにくかった | わかりにくかった | | 4,094 | 34 |
| | | | | | 1,556 | 38.0% | 1,798 | 43.9% | 598 | | |

2.2 授業運営について

表 6 上段から、評価が高いものは、「3. 授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。」である一方、相対的に「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」の評価が悪く、講義環境づくりに注力する必要があると考えられます。

また、2.1 節の「授業のわかりやすさ」と同様に、春学期、大学全体との比較いずれについても評価が高く、効果的な授業運営が試みられていると判断できます。

表 6 授業運営について(上段：2014 年度秋学期，下段：2014 年度春学期)

| 問 | 設問 | 当学科 平均 | 当学部 平均 | 全体 平均 | 回答数/回答率(%) | | | | | 有効 回答 | 無効 回答 |
|--------------------|--|-----------|-----------|----------|------------|---------|-----------|--------|-------------------|----------|----------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| B. 授業運営について | | | | | | | | | | | |
| 1 | シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。 | 3.48 | 3.47 | 3.44 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | | 2,459 | 10 |
| | | | | | 1,301 | 52.9% | 1,057 | 43.0% | 88 | | |
| 2 | 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。 | 3.45 | 3.41 | 3.33 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 私語がなかったので注意の必要がない | 2,457 | 12 |
| | | | | | 1,192 | 48.5% | 859 | 35.0% | 141 | | |
| 3 | 授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。 | 3.55 | 3.56 | 3.50 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | | 2,456 | 13 |
| | | | | | 1,542 | 62.8% | 763 | 31.1% | 114 | | |
| 4 | 総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。 | 3.45 | 3.42 | 3.39 | よかった | わりによかった | あまりよくなかった | よくなかった | | 2,446 | 23 |
| | | | | | 1,307 | 53.4% | 961 | 39.3% | 148 | | |

| 問 | 設問 | 当学科 平均 | 当学部 平均 | 全体 平均 | 回答数/回答率(%) | | | | | 有効 回答 | 無効 回答 |
|--------------------|--|-----------|-----------|----------|------------|---------|-----------|--------|-------------------|----------|----------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| B. 授業運営について | | | | | | | | | | | |
| 1 | シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。 | 3.36 | 3.42 | 3.40 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | | 4,104 | 24 |
| | | | | | 1,788 | 43.6% | 2,037 | 49.6% | 241 | | |
| 2 | 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。 | 3.27 | 3.35 | 3.30 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 私語がなかったので注意の必要がない | 4,107 | 21 |
| | | | | | 1,572 | 38.3% | 1,808 | 44.0% | 362 | | |
| 3 | 授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。 | 3.48 | 3.52 | 3.50 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | | 4,095 | 33 |
| | | | | | 2,296 | 56.1% | 1,506 | 36.8% | 239 | | |
| 4 | 総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。 | 3.30 | 3.37 | 3.35 | よかった | わりによかった | あまりよくなかった | よくなかった | | 4,059 | 69 |
| | | | | | 1,710 | 42.1% | 1,914 | 47.2% | 359 | | |

2.3 学習成果について

表 7 上段より、「2. 受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。」、「3. 受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。」の評価に比べて、選択肢 1「あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。」ならびに選択肢 4「この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。」の評価が相対的に低くなっています。言い換えると受動的には授業の学習成果をみとめるものの、能動的な評価として充分でないと考えられ、より自発的な授業への取り組みをどのようにきっかけとして提供していくかが問題と考えられます。

また、前節と同様に、学期、大学全体との比較いずれについても評価が高く、大きな学習成果達成のための試みがなされていると判断できます。

表 7 学習成果について(上段：2014 年度秋学期，下段：2014 年度春学期)

| 問 | 設問 | 当学科 平均 | 当学部 平均 | 全体 平均 | 回答数/回答率(%) | | | | | 有効 回答 | 無効 回答 |
|--------------------|---|-----------|-----------|----------|------------|---------|-----------|--------|-----|----------|----------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| C. 学習成果について | | | | | | | | | | | |
| 1 | あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。 | 3.24 | 3.21 | 3.17 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | | 2,454 | 15 |
| | | | | | 920 | 37.5% | 1,225 | 49.9% | 277 | | |
| 2 | 受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。 | 3.42 | 3.39 | 3.33 | できた | わりにできた | あまりできなかった | できなかった | | 2,443 | 26 |
| | | | | | 1,217 | 49.8% | 1,049 | 42.9% | 155 | | |
| 3 | 受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。 | 3.32 | 3.30 | 3.25 | できた | わりにできた | あまりできなかった | できなかった | | 2,453 | 16 |
| | | | | | 1,071 | 43.7% | 1,123 | 45.8% | 230 | | |
| 4 | この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。 | 3.23 | 3.20 | 3.17 | よかった | わりによかった | あまりよくなかった | よくなかった | | 2,444 | 25 |
| | | | | | 889 | 36.4% | 1,254 | 51.3% | 270 | | |

| 問 | 設問 | 当学科 平均 | 当学部 平均 | 全体 平均 | 回答数/回答率(%) | | | | | 有効 回答 | 無効 回答 |
|--------------------|---|-----------|-----------|----------|------------|---------|-----------|--------|-----|----------|----------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| C. 学習成果について | | | | | | | | | | | |
| 1 | あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。 | 3.08 | 3.17 | 3.15 | そう思う | わりにそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | | 4,086 | 42 |
| | | | | | 1,202 | 29.4% | 2,125 | 52.0% | 656 | | |
| 2 | 受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。 | 3.31 | 3.36 | 3.31 | できた | わりにできた | あまりできなかった | できなかった | | 4,075 | 53 |
| | | | | | 1,758 | 43.1% | 1,869 | 45.9% | 389 | | |
| 3 | 受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。 | 3.16 | 3.24 | 3.21 | できた | わりにできた | あまりできなかった | できなかった | | 4,076 | 52 |
| | | | | | 1,403 | 34.4% | 1,981 | 48.6% | 615 | | |
| 4 | この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。 | 3.07 | 3.14 | 3.13 | よかった | わりによかった | あまりよくなかった | よくなかった | | 4,083 | 45 |
| | | | | | 1,126 | 27.6% | 2,205 | 54.0% | 651 | | |

2.4 授業の難易度と進捗について

表 8 に、授業の難易度と進捗の結果を示しますが、いずれの項目とも学部平均、大学平均を上回るとともに、春学期よりも改善されており、適切な授業難易度と進捗の設定がなされていると判断できます。

表 8 授業の難易度と進捗について(上段：2014 年度秋学期，下段：2014 年度春学期)

| 問 | 設問 | 当学科 平均 | 当学部 平均 | 全体 平均 | 回答数/回答率(%) | | | | | | | | | | 有効 回答 | 無効 回答 |
|---|----------------------------|-----------|-----------|----------|------------|-------|-----------|-------|-----------------|------|----------|------|---|--|----------|----------|
| | | | | | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | | | |
| | | | | | 適切であった | | わりと適切であった | | あまり適切 ではなかった | | 適切ではなかった | | | | | |
| 1 | 授業の難易度はあなたにとって適切でしたか。 | 3.32 | 3.28 | 3.21 | 1,028 | 42.0% | 1,190 | 48.7% | 202 | 8.3% | 26 | 1.1% | | | 2,446 | 23 |
| 2 | 授業の進み方のペースは、あなたにとって適切でしたか。 | 3.37 | 3.33 | 3.26 | 1,122 | 45.9% | 1,136 | 46.5% | 159 | 6.5% | 26 | 1.1% | | | 2,443 | 26 |
| 3 | 総合的に見て、授業の難易度と進捗は適切でしたか。 | 3.35 | 3.32 | 3.25 | 1,082 | 44.3% | 1,162 | 47.6% | 175 | 7.2% | 24 | 1.0% | | | 2,443 | 26 |

| 問 | 設問 | 当学科 平均 | 当学部 平均 | 全体 平均 | 回答数/回答率(%) | | | | | | | | | | 有効 回答 | 無効 回答 |
|-------------------------|----------------------------|-----------|-----------|----------|------------|-------|-----------|-------|-----------------|-------|----------|------|---|--|----------|----------|
| | | | | | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | | | |
| | | | | | 適切であった | | わりと適切であった | | あまり適切 ではなかった | | 適切ではなかった | | | | | |
| D. 授業の難易度と進捗について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 授業の難易度はあなたにとって適切でしたか。 | 3.17 | 3.21 | 3.15 | 1,346 | 33.0% | 2,185 | 53.5% | 466 | 11.4% | 84 | 2.1% | | | 4,081 | 47 |
| 2 | 授業の進み方のペースは、あなたにとって適切でしたか。 | 3.18 | 3.25 | 3.22 | 1,402 | 34.4% | 2,104 | 51.6% | 499 | 12.2% | 75 | 1.8% | | | 4,080 | 48 |
| 3 | 総合的に見て、授業の難易度と進捗は適切でしたか。 | 3.19 | 3.24 | 3.20 | 1,384 | 33.9% | 2,170 | 53.2% | 449 | 11.0% | 75 | 1.8% | | | 4,078 | 50 |

3. 総評

平成 26 年度秋学期は、授業のわかりやすさ、授業運営、学習成果、授業の難易度と進捗の全ての項目について、国際観光学科の平均は概ね全学平均を上回るとともに、全ての項目について平成 26 年度春学期の学科平均を上回る良好な結果となりました。一方、5 回以上欠席した学生がいたり、「授業がわかりにくかった」という回答も一部で見られます。一時的な結果とならないよう、改善すべき項目を一つ一つ解決しつつ、持続的に高評価が得られるように引き続き検討や改善といった PDCA サイクル (Plan-Do-Check-Action) を行う必要があると考えます。

なお、ここで示した授業評価アンケート以外に、国際観光学科では効果的な授業実施のために、1) 教員による授業の相互評価 (平成 26 年度秋学期において 3 講義で実施) を行い、本年度は、学部全体でさらに拡充する予定となっています。また、担当者によるシラバスの点検も行いました。これは、全シラバスについて 1 件 1 件の記載内容の確認を行うもので、698 科目のシラバスに不適切な記述が散見されたため、適切な修正を行いました。シラバスは履修科目決定の際に重要な情報となるとともに、履修した科目への評価に密接に関連すると考えられるために、これらの作業を行いました。このような取り組みが有機的に連携しながら、履修者の学修効果がより大きくなるように、今後も引き続いて改善、改良に取り組む予定です。

以上